

科目名	人文科学Ⅲ Human ScienceⅢ			担当教員	與田 純		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	15120045	単位区分	履修単位
学習目標	第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦・太平洋戦争など、激動の20世紀前半の歴史を、日本の動向を軸に論じてゆく。緊張する今日の東アジア情勢を理解するためには不可欠な、この時代についての深い知識と相対的な視野を身につけてもらいたい。						
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、映像教材などを用いて授業の理解を深める。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. 「帝国主義の時代」と第一次世界大戦(15) (1) 「帝国主義の時代」 (2) 第0次世界大戦? (3) 第一次世界大戦への道 (4) 第一次世界大戦 (5) 日本と第一次世界大戦			日露戦争を「帝国主義の時代」という世界史的な枠組みの中で把握できている。第一次世界大戦の原因と経過、その意義を説明できる。  学習・教育目標：(A-1) [A-1]			
	2. 戦後の新国際秩序の成立と崩壊(15) (1) ヴェルサイユ・ワシントン体制 (2) アメリカの「黄金の20年代」 (3) 世界恐慌 (4) ニューディール政策 (5) ファシズム体制の出現			戦後の新国際秩序の特徴と意義・問題点について理解できている。世界恐慌の原因と、各国の対応について説明できる。  学習・教育目標：(A-1) [A-1]			
	前期末試験						
	試験返却(1)						
	3. 満州事変・日中戦争・第二次世界大戦(15) (1) 満州事変 (2) 満州国 (3) 日中戦争 (4) 第二次世界大戦 (5) ニュルンベルク裁判			満州事変・満州国・日中戦争の原因・経過と、一連の出来事が今日の東アジア情勢に及ぼしている影響について説明できる。第二次世界大戦の概要を理解できている。  学習・教育目標：(A-1) [A-1]			
	4. 太平洋戦争 (1) 日米交渉 (2) 戦争の経過(I) 開戦～ミッドウェー海戦 (3) 経過(II) マリアナ沖海戦～サイパン陥落 (4) 経過(III) 本土空襲～原爆～敗戦 (5) 東京裁判			太平洋戦争の概要と重要事項を理解できている。一連の出来事が今日の世界情勢に及ぼしている影響について説明できる。  学習・教育目標：(A-1) [A-1]			
	後期末試験						
試験返却(1)							
評価方法	・評価の内訳は、発表点を5%程度、定期試験結果を95%程度とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは、1.～4.のそれぞれについて25%、25%、25%、25%とする。						
履修要件	特になし。						
関連科目	歴史Ⅰ(1年) → 歴史Ⅱ(2年) → 人文科学Ⅲ(4年)						
教材	授業中に随時配布予定。						
備考	・再試験は当該年度の定期試験後に実施する。 ・単位追認試験は次年度の6月(前期範囲)と12月(後期範囲)に実施する。						